

公益社団法人 福井被害者支援センター

with you
あなたとともに



被害者支援によせて

福井県警察本部

警務部長 日野 祥 英



昨年8月7日付けで、警務部長に就任しました日野でございます。宜しくお願い申し上げます。

さて、被害者支援を取り巻く情勢は、平成16年に犯罪被害者等基本法が制定され、平成17年には犯罪被害者等基本計画の閣議決定を受け、犯罪被害給付制度の拡充や被害者参加制度が導入されました。また、一昨年3月には、犯罪被害者支援施策のさらなる拡充を目的とした、第2次基本計画が策定され、新たな取り組みが進められているところであります。

県警察におきましては、安全で安心して暮らせる社会を実現するため、「犯罪の起きにくい社会づくり」や「子ども、女性を犯罪被害から守る対策の推進」等に取り組み、相当の成果を挙げているところであります。しかし、未だ、毎年多くの方が理不尽な事件・事故に巻き込まれ被害に遭われている現実もあります。

県警察では、被害者の置かれている現状やニーズをしっかりと受け止め、被害者やそのご家族が一日も早く平穏な生活に戻ることができるよう、臨床心理士によるカウンセリングや医療費等の公費負担のほか、福井被害者支援センターをはじめとする関係機関・団

体と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めているところであります。

福井被害者支援センターにおかれましても、平成13年に任意団体として設立されて以来、被害者の方からの電話や面接による相談、裁判等における付き添いなど、きめ細やかな支援に取り組まれているところであります。また、県民一人ひとりが犯罪被害者等の実態や被害者支援の必要性等について理解を深めるため、県民公開講座の開催のほか、平成22年度からは、県警察と協働で中学生、高校生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」を開催されているところであります。

被害者が抱える様々な問題の早期回復・軽減を図るには、警察のほか司法、行政、民間が連携し、総合的な取り組みを強化していくことが重要であります。県警察では、関係機関・団体との連携を一層強化し、迅速で、被害者のニーズに合った長期的な支援を実施していく所存でありますので、福井被害者支援センターの皆様方には引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、松原理事長様をはじめセンターの皆様方には、日頃から被害者支援の活動等に多大なご尽力をいただいております。心から敬意と感謝を申し上げます。



福井県警察賛助会員入会式



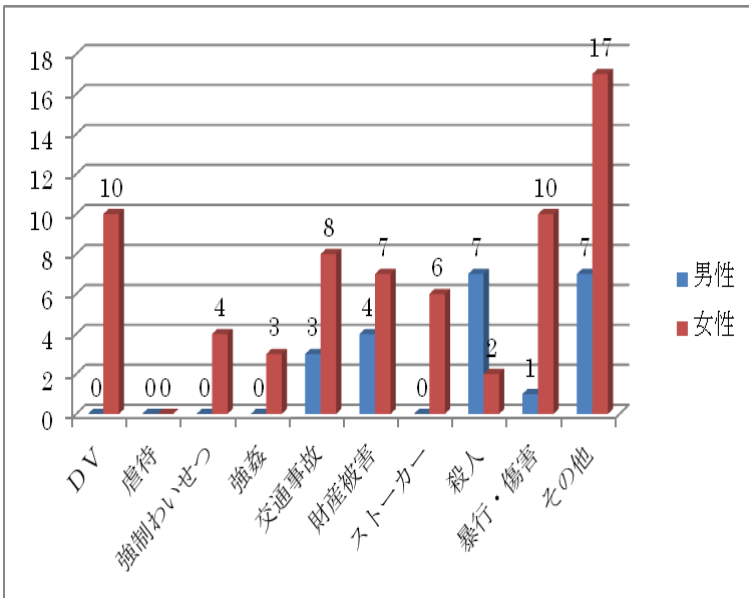
警察職員から賛助会員の入会申込書を受け取る松原六郎理事長

犯罪被害者への支援の輪を広げようと、県警察の警察官や一般職員 683 人と親睦会 12 グループが、平成24年9月20日、福井被害者支援センターに賛助会員として入会し、会費 180 万円を頂きました。

松原六郎理事長は「会費はわれわれの運営の一助となっています。これからも責任を果たせるようにがんばります。」と抱負を述べました。

相談件数(平成24年4月~12月)

男女別相談件数



被害別手段別相談件数

被害内容	電話	面接	直接	メール	合計
DV	8	0	1	1	10
虐待	0	0	0	0	0
強制わいせつ	3	0	1	0	4
強姦	3	0	0	0	3
交通事故	7	2	2	0	11
財産被害	11	0	0	0	11
ストーカー	6	0	0	0	6
殺人	3	0	5	1	9
暴行・傷害	5	0	6	0	11
その他	21	1	1	1	24
合計	67	3	16	3	89

月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月
件数	18	9	8	9	10
月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	17	5	10	3	89

~あなたの優しさを~

私たちの活動は、会費・寄付等、皆様の優しさによって支えられています。センターの支援は全て無料ですがそのための経費を必要とします。被害者の方が安心して相談できるよう、ご支援ご協力をお願い致します。

賛助会費



個人 一〇 2,000 円

団体 一〇 10,000 円

(何口でも可)

ご寄付は金額にかかわらず受付けております。

県民公開講座

平成 24 年第 2 回県民公開講座が 11 月 17 日
福井県織協ビルで開催されました。

第一部では、本年度福井県警察と協働で県内の中学校
12 校と高校 2 校で開いた「命の大切さを学ぶ教室」の
感想文コンクールの表彰式と受賞者による朗読を行いま
した。入賞者は下記の通りです。

最優秀賞

(高校生の部) 羽水高等学校 3 年 金森 凧咲 さん

(中学生の部) 丸岡中学校 3 年 中村 香南子 さん

優秀賞

(高校生の部) 福井工業大学附属福井高等学校 2 年
高野 佳代 さん

(中学生の部) 上庄中学校 3 年 利内 美穂 さん

第二部では、「性犯罪被害にあうということ」という
演題で小林美佳氏にご講演いただきました。

参加した仁愛女子高等学校 1 年生に対して、ご自身
の体験をもとに、まずは性暴力の被害を知ることが理解
につながるのだと話されました。



県民公開講座の様子

生徒さんの感想より

今回この講演会に参加するまでは、どこかで性
犯罪は他人事だと思っている自分がいました。
小林さんの話は実体験なので、他にどんな話を
聞くよりもすごく説得力があったと思います。
性犯罪を受けた人々が、私が思っていたよりも
たくさんいることを知り、驚いたと同時に、い
つどこでだれが被害に遭うかわからないので、
自分も今以上に気を付けなければいけないと
強く感じました。辛い経験だと思うのに話して
下さってとても勉強になりました。

性犯罪はいつ起こるかかわからないし、とて
も怖いものなのだなと思いました。世間的
にみると被害者について偏見を持つ人もい
ると思いますが、偏見ではなくてその人た
ちの苦しみなどを理解して向き合っていく
ことが大切だなと思いました。このような
講演会を聞いてよかったです。今後も講演
会をたくさんの人に聞いてもらいたいで
す。

命の大切さを学ぶ教室

日	学校名	対象
10月 5日	明道中学校	1 年生 184 名
10月 29日	丹生高等学校	全校生徒 420 名
11月 6日	敦賀高等学校	1 年生 280 名
11月 12日	明倫中学校	全校生徒 784 名
12月 10日	三国高等学校	1・2 年生 380 名
12月 13日	丸岡高等学校	2 年生 153 名



敦賀高等学校での様子

犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)

街頭キャンペーン活動

11月22日(木) 早朝よりJR福井駅構内にて、福井県警察本部と合同で、パンフレットやティッシュを配布し犯罪被害者等への理解を呼びかけました。また11月24日(金)アピタ福井大和田店にて県警音楽隊の犯罪被害者支援コンサートが開催され、演奏とともに遺族の手記を朗読しました。ボランティアの大学生の方も参加し、買い物客らにパンフレットを手渡しました。



JR福井駅の様子



アピタ福井大和田店での様子

「犯罪被害者週間」県民のつどい

12月1日(土) 福井県自治会館にて開催されました。基調講演では平成13年6月に発生した大阪教育大学附属池田小学校事件のご遺族、酒井肇氏に「被害者支援の原点に戻って～私たちが望んだ支援・私たちが受けた支援～」という演題でご講演いただきました。

またパネルディスカッションでは、「あなたの隣の被害者のためにできること」というテーマで福井被害者支援センター理事長の松原六郎がコーディネーターとなり、酒井氏をはじめ、川上賢正副理事長、宮地美貴子相談員がそれぞれの立場で意見を交わしました。



パネルディスカッションの様子



挨拶する川上副理事長

研修報告

継続研修は、毎月1回土曜日に開催し、事例検討や関係機関見学など、相談員としての活動に活かすことを目的に研鑽しております。

各研修と内容等



継続研修 (福井)	<p>10/6 刑事手続きの流れと直接支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 岡本矢 弁護士 ◆ 参加者 8名 ◆ 内容 刑事手続きのスケジュールをもとに加害者が逮捕され刑事裁判までの内容とそのポイントを学ぶ
	<p>11/17 性犯罪被害にあうということ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 臨床心理士 齊藤荘二 ◆ 参加者 10名 ◆ 内容 小林美佳氏講演後の意見交換会
	<p>12/8 法テラスの被害者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 市川徹 弁護士(法テラス常任弁護士) 元森博子氏(法テラス職員) ◆ 参加者 9名 ◆ 内容 法テラスの概要、業務内容・犯罪被害者支援業務概況の説明を受け、どんな連携ができるのかを考える。 <p>平成25年</p> <p>1/12 相談員のための心理ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 臨床心理士 田中伸晃氏(福仁会病院) ◆ 参加者 11名 ◆ 内容 相談員の仕事の特性から心のケアの重要性、境界線のひき方、予防としてリラクゼーションの実践等を学ぶ。
継続研修 (敦賀)	<p>11/28 事例検討・支援者のメンタルヘルス</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 中村まゆみ氏 ◆ 参加者 5名 ◆ 内容 実践的事例検討シュミレーション訓練のための具体的想定事例をもと検討とリラックス法等を学ぶ。
全国研修 (東京)	<p>11/5 自助グループ継続研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 参加者 2名 ◆ 内容 交通安全対策の現状と課題・犯罪被害者等施策の現状と課題・交通事故被害者遺族の悲嘆ケア・ファシリテーターの現状と課題等

今後の継続研修の予定



継続研修 (福井)	<p>2/16(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 安倍 博氏(福井大学医学部教授) ◆ 内容 ストレスと共感の心理学
	<p>3/23(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講師 安倍 博氏(福井大学医学部教授) ◆ 内容 睡眠・身体のリズムと人の健康
継続研修 (敦賀)	<p>3/6(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 内容 実践的シュミレーションを学ぶ・傾聴トレーニング ◆ 場所 男女共同参画センター



養成講座を終えて

この度は貴重な養成講座を受けさせていただき講師の先生方、お世話頂きました方々にまずはお礼申し上げます。被害者とそのご家族を取り巻く状況、また支える側のこと等何一つ知らない所からのスタートで戸惑う事ばかりでしたが、今後も少しでも皆様のお役に立てるよう謙虚な姿勢で知識を深めていきたいと思っております。どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

ボランティア相談員 上伏しおり



その他の活動報告

9月

26日 自助グループ「光の風」例会

10月

9日 命の大切さを学ぶ教室 於：託麻中学校
 12日 命の大切さを学ぶ教室 於：長浜北高校
 22日 いのちの講座 於：文殊小学校

11月

2日 命の大切さを学ぶ教室 於：長浜南中学校
 7日 DV連絡協議会
 9日 自助グループ「光の風」例会
 13日 警察職員研修会にて講演
 14日 警察職員支援センター見学
 24日 福井南署ネットワーク会議
 30日 法テラス研修会にて講演

12月

9日 交通安全母の会にて講演
 19日 自助グループ「光の風」例会

お知らせ

平成24年7月末で当支援センター事務局の川端洋子相談員が退職致しました。長きに渡り、被害者支援センターの活動にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。



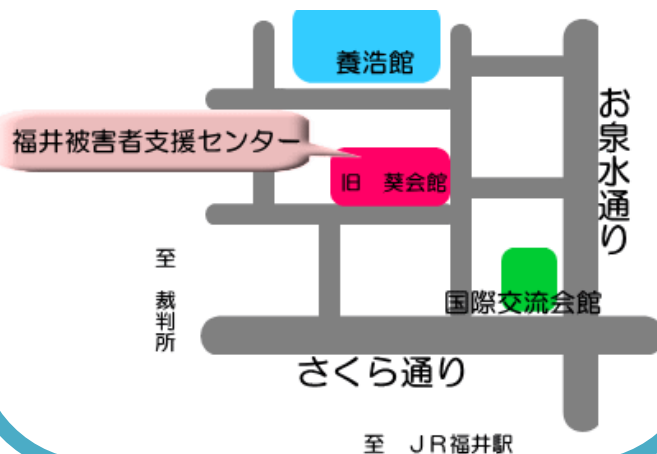
発行日
2013年2月10日
発行者

福井県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 福井被害者支援センター
 〒910-0017 福井市文京2丁目13-5 辻ビル3階
 事務局 TEL 0776-88-0801 FAX 776-88-0820
 ホームページ <http://www.fvsc.jp/>
 eメール info@fvsc.jp

事務局移転のお知らせ

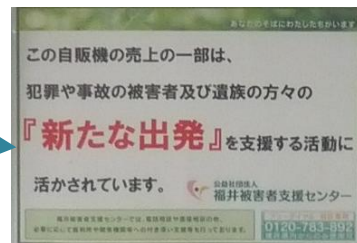
平成25年3月末に、福井被害者支援センター事務局は、現在の文京2丁目辻ビル3階から宝永3丁目の旧葵会館の3階へと移転致します。

新事務所
 場所 福井市宝永3丁目8番1号
 (旧 葵会館 3階)
 電話番号は今まで通りです。



ご協力ありがとうございました

売上金の一部が福井被害者支援センターの活動資金となる犯罪被害者支援自動販売機が、福井県立病院売店経営の吉田様のご協力により、福井県立病院こころの医療センターに5台設置されました。



編集後記

3月末に事務局を移転することになり、この辻ビルともお別れすることになりました。急な階段を3階まで一気に上り、息切れする毎日ともサヨナラだと思わず少し寂しい気もします。4月からは新事務所にて心機一転し、事務局スタッフ一同、より一層のチームワークでがんばっていきたいと思います。(宮地)